

評価項目	細項目	九州シンクロ（実績）	あいちシンクロ（実績）	
1 PR	年報	1回	1回	
	利用報告書	101件	434件	
	パンフレット			
	Webマガジン	4回	メルマガ1回・広報誌3回	
	専門誌への広告掲載	4回	—	
	HP	利用成果の開示（随時）	公共等利用又は成果公開無償利用の成果報告書開示（随時）	
	産業利用支援セミナー	2回（19人、24人）	3回（46～68人）	
	実地研修	—	9回（3～9人）	
	実験ホール見学会	1回×14人	—	
	サマースクール	3回×20人	6回（10～32人）	
	施設紹介	31件	—	
	一般公開	1日間（362人）	1回	
	見学者	1,206人	720人	
	発表論文	37件	43件	
	学会発表件数	39件	24件	
	学会・シンポジウム講演	3回（59～92人）	34件	
	展示会出展	4回	3回	
	国際会議	10件	6件	
	総論、解説	10件	6件	
	受賞	0件	1件	
プレスリリース	4件	1件		
2 サービス向上	県内企業等の訪問（産業利用のコーディネート活動）	県内企業等の訪問164件	個別企業訪問7件	
	包括利用	3件・34時間	—	
	トライアル利用	11件	13件	
	測定代行	—	833時間	
	検査・分析会社の活用	—	検査・分析会社の利用自体は増加傾向にある。様々な業界の動向を承知されているということで、今後の当センターのあり方を検討するにあたり、参考に意見を伺っている。	
	成果公開無償利用	—	16件	
3 収入確保	県有（財団有）BL利用料金体系	別紙2のとおり	別紙2のとおり	
	その他の利用料金体系	別紙3のとおり	—	
	外部資金	—	※戦略的創造研究推進事業（CREST：JST）、科学研究費助成事業（学振）、知の拠点あいち重点研究プロジェクト（愛知県）	
4 人材確保・育成	研究員の公募事例	科学技術振興機構、加速器学会、放射光学会等を通じた公募	放射光学会等を通じ広く公募を行い、原則、選考試験により採用	
	研究員の個別募集活動事例	類似研究施設の人材情報を元にした働きかけなど	—	
	人材育成	企業や大学との共同研究を通じた研究員の技術力向上		外部資金を活用した研究員の技術力向上
		研究活動の一環として学会参加等を奨励		研究活動の一環として学会参加等を奨励
		専門外分野をサブ担当として割り当て、技術の幅拡大		他施設への派遣による技術交流の実施

※ 「1PR」はR元年度、その他はR3年度の実績を記載

目標	比較項目	九州シンクロ（R3実績）	あいちシンクロ（R3実績）
利活用促進	稼働BL数	11本	12本
	うち県有（財団有）BL数	7本	8本
	県有（財団有）BL利用時間数	3,747時間	6,608時間
	県有（財団有）BL稼働率	59.5%	89.5%
	利用料収入	70,160千円	195,116千円
	うち県有（財団有）BL利用料収入	21,660千円	195,116千円
	県有（財団有）BL産業利用割合	（注1） 37.0%	59.2%
	うち県内割合	（注2） 40.4%	—

（注1）及び（注2）直接的な産業利用である企業利用の数値であり、これに大学・公設試利用のうち間接的な産業利用の数値を加えるとそれぞれ64.7%と33.0%となる。